

実験動物感染症の現状

実験動物微生物統御若手の会発足と、 第1回・第2回実験動物微生物統御若手の会勉強会開催の 紹介ならびにごあいさつ

実験動物微生物統御若手の会
日本実験動物学会感染症対策委員会

いま、多くの学会で若手育成が急務となっている。実験動物微生物統御若手の会は、2019年に日本実験動物学会感染症対策委員会が中心となって立ち上げ、若手が実行委員となって自主的に運営することを目指し、同年9月に第1回若手の会つくば勉強会を開催した（参加者61名）。翌2020年9月にも第2回若手の会の開催を目指したが新型コロナウイルス感染症蔓延のためやむを得ず中止とし、ようやく2022年2月に第2回をオンラインで開いた（参加者105名）。この第2回若手の会については、別稿で綾部信哉代表幹事が詳しく報告する。

実験動物微生物統御若手の会勉強会は、日本実験動物学会の後援、公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団の助成、ならびに国立研究開発法人理化学研究所バイオリソース研究センターの協力を受けて開催した。開催に向けて多くの時間と労力を賜った方々、そして参加して下さった皆様に謝意を表する。

実験動物微生物統御若手の会

[運営委員] (*: 第1回のみ, **: 第2回から)

代表: 池 郁生 (理化学研究所)

副代表: 渡邊利彦 (中外製薬株式会社)

大沢一貴 (長崎大学)

國田 智* (自治医科大学)

佐々木崇** (札幌医科大学)

佐々木啓 (順天堂大学)

田中美有** (大阪府立大学)

谷口 怜** (国立感染症研究所)

鳥越大輔 (熊本大学)

中村紳一朗 (滋賀医科大学)

花木賢一* (国立感染症研究所)

林元展人 (実験動物中央研究所)

丸山 滋 (日本チャールス・リバー株式会社)

山田 梓** (大阪大学→ラビックス株式会社)

山中仁木 (信州大学)

[特別講演1] 9月27日(1-4) 13:10 ~ 15:20,

28日(5,6) 9:00 ~ 10:00

1. 排気ダストを利用したIVCラックのための微生物モニタリング-EAD-

丸山 滋 (日本チャールス・リバー株式会社)

2. 沖縄科学技術大学院大学での微生物モニタリング
鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)

3. Sentinel™ EAD® を用いた微生物モニタリング法の試験検討

新美君枝 (理化学研究所脳科学研究センター)

4. EAD 検査導入に関する検討例

田島朋子 (大阪府立大学)

5. 糞便や排気系フィルターダストは何をモニターしているのか

大沢一貴 (長崎大学)

第1回 つくば勉強会

「微生物モニタリングの新トレンド 飼育ラックの排気ダストPCRによる環境検査とその導入検討・運用・解釈」

日時: 2019年9月27日(金) 13時~

28日(土) 15時

(27日夕方に情報交流会)

場所: 理化学研究所バイオリソース研究センター
森脇和郎ホール



6. PCR は万能か？

林元展人（実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター）

【見学会】 15:20 ～ 16:00

【ワンエピソード】 自己紹介（全員参加） 16:00 ～ 17:00

【参加者によるエピソード発表 1】 10:05 ～ 11:05

【特別講演 2】 9月 28日 11:15 ～ 12:15

1. 次世代シーケンサーと関係してしまった
池 郁生

（理化学研究所バイオリソース研究センター）

2. 次世代シーケンサーと微生物コントロール
【MA1】（食品の微生物検査分野）
木村 凡（東京海洋大学）

【参加者によるエピソード発表 2】 13:00 ～ 14:30

[実行委員]

綾部信哉（理化学研究所）
磯部剛仁（中外製薬株式会社）
外岡武士（日本チャールス・リバー株式会社）
鳥越大輔（熊本大学）
橋立幸弥（実験動物中央研究所）
山中仁木（信州大学）

後援：（公社）日本実験動物学会

助成：（公財）加藤記念バイオサイエンス振興財団

協力：（国研）理化学研究所バイオリソース研究センター

賛助：日本チャールス・リバー株式会社

テクニプラスト・ジャパン株式会社

株式会社アニマルケア

エデストロムジャパン株式会社

マーシャル・バイオリソース・ジャパン株式会社

第2回オンライン勉強会（詳細は綾部会員の記事参照）

日時：2022年2月4日（金）10時～16時

場所：Zoomによるオンライン開催

【午前の部】 10:00 ～ 12:00

実験動物の微生物統御に関する最近の話題

近年の微生物モニタリングの状況

座長：綾部信哉（理化学研究所）

1. マウスの微生物学的品質と検査の自己評価プログラム

林元展人

（（公財）実験動物中央研究所）

（ICLAS モニタリングセンター）

2. 受託微生物モニタリングにおける特定病原微生物の検出状況と環境からの微生物汚染対策、及び野鼠の微生物モニタリング

外岡武士

（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）

実験動物や施設設備の健康・衛生管理

座長：山中仁木（信州大学）

1. 感染研動物実験施設における病原体汚染事故を振り返って

滝本一広（国立感染症研究所）

2. 実験動物の健康管理と感染症対策「一体何をすればいいの？」

國田 智（自治医科大学）

【午後の部】

グループディスカッションを通じた微生物統御演習

参加者同士の情報交換・交流

ファシリテーター・講師：

佐々木崇、外岡武士、丸山 滋、

渡邊利彦、池 郁生、谷口 怜、

中村紳一郎、山田 梓、山中仁木

課題作成：山田 梓、佐々木崇、外岡武士、

谷口 怜、橋立幸弥

アドバイザー：

実験動物微生物統御若手の会運営委員

13:30 ～ 13:40 概要説明、

zoom ブレイクアウトルームへの移動

13:40 ～ 14:00 グループ内で自己紹介

14:00 ～ 15:00 課題および関連する話題に関して

グループ内ディスカッション

15:00 ～ 15:15 全体発表のための議論・スライド準備

15:15 ～ 16:00 全体発表・ディスカッション

[実行委員]

代表幹事

綾部信哉（理化学研究所）

幹事

佐々木崇（札幌医科大学）

田中美有（大阪府立大学）

谷口 怜（国立感染症研究所）

外岡武士（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）

鳥越大輔（熊本大学）

橋立幸弥（実験動物中央研究所）

山田 梓（ラビックス株式会社）

山中仁木（信州大学）

後援：（公社）日本実験動物学会

助成：（公財）加藤記念バイオサイエンス振興財団

協力：（国研）理化学研究所バイオリソース研究センター